

# 平成 30 年度 附属図書館活動報告書

東京大学附属図書館

## 目次

<b>1. 平成 30 年度の特記事項</b> .....	1
1.1 新図書館計画の進捗.....	1
1.2 障害のある利用者（本学構成員）への資料電子化サービス.....	1
1.3 新プロジェクトの発足.....	1
1.4 総合的教育改革への対応（駒場図書館）.....	2
1.5 学習・閲覧環境の充実とサービス改善の取り組み（駒場図書館）.....	2
1.6 「大日本海志編纂資料」が「ふね遺産」に認定（駒場図書館）.....	3
<b>2. 研究成果の発信、資料の電子化</b> .....	4
2.1 機関リポジトリ：東京大学学術機関リポジトリ.....	4
2.2 東京大学デジタルアーカイブズ構築事業.....	4
2.3 電子化資料公開システムの改良等.....	4
2.4 国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同ネットワーク事業」による資料電子化 作業（総合図書館・駒場図書館）.....	4
<b>3. 利用者サービス、ガイダンス、広報</b> .....	5
3.1 MyOPAC による文献取寄せサービス.....	5
3.2 駒場図書館キャラクター「こまとちゃん」を活用した広報（駒場図書館）.....	5
3.3 図書館ガイダンス、講習会等.....	6
3.4 キャンパス一般公開.....	7
3.5 イベント企画（総合図書館）.....	7
3.6 展示企画及びイベント等（駒場図書館）.....	10
3.7 展示会及びイベント等（柏図書館）.....	10
<b>4. 資料の収集</b> .....	12
4.1 学習用図書 of 整備.....	12

4.2	全学資料購入集中処理システムの着実な運用	12
4.3	全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備	12
4.4	大型コレクション	12
<b>5.</b>	<b>資料の管理</b>	<b>13</b>
5.1	目録データの遡及入力事業	13
5.2	自動書庫への資料入庫（総合図書館）	13
5.3	自動書庫への雑誌移管（柏図書館）	13
5.4	図書資産の実査	13
5.5	改修工事に伴う資料の学内移転（総合図書館）	14
<b>6.</b>	<b>業務管理</b>	<b>15</b>
6.1	職員研修	15
6.2	友の会（柏図書館）	15
6.3	インターンシップ	15
6.4	社会連携・地域貢献	16
6.5	教員著作物可視化事業との連携	16
6.6	学内他部署との連携	16
6.7	規則改正	17
<b>7.</b>	<b>附属図書館会議</b>	<b>18</b>
	<b>全図書館・室統計</b>	<b>19</b>

# 1. 平成 30 年度の特記事項

## 1.1 新図書館計画の進捗

総合図書館本館の耐震改修工事は平成 30 年 3 月に、Ⅲ-1、2 期部分が完了し、5 月 22 日（火）、正面玄関と中央部分のサービスを再開した。正面玄関は 4 年ぶりに利用者用の入退館口として戻ってきたことになる。引き続き平成 30 年 10 月から平成 31 年 3 月まで、書庫（地下 1 階から 6 層）を対象とするⅢ-3 期工事が実施された。なお、Ⅲ-3 期工事およびⅣ期フロアプランについては、「改修・フロアプラン部会」の後継である「図書館本館改修・フロアプラン月例会議」において検討した。

総合図書館別館は、本館改修工事による閲覧スペース不足を補うため、竣工以来学習スペースとしていたライブラリープラザを、10 月 2 日（火）から、会話ができるアクティブな学習空間としてリニューアルオープンした。五神真総長、熊野純彦附属図書館長による対談を皮切りに連続してイベントを実施し、学術情報発信の場でもあることの周知に努めた。（詳細は 3.5 イベント企画）。また、2 月からは工学研究科英文コンサルテーション ERIC（English wRItIng Consultant）に会場を提供した。

総合図書館書庫の図書と製本雑誌の自動書庫への搬入も引き続き実施した。（詳細は 5.2 自動書庫への資料入庫）

組織体制では新たに、平成 30 年 4 月 1 日付けで小野塚知二・大学院経済学研究科教授がアジア研究図書館長に任命され、同時にアジア研究図書館運営委員会が発足した。運営委員会では、令和 2 年度に総合図書館 4 階に開架スペースが開設される予定であることから、収集対象資料や Web サイトの内容、利用条件等について検討が行われた。

また、運営委員会での検討に基づき、附属図書館長・アジア研究図書館長連名で各部局図書館・室に対してアジア研究図書館新設に伴う図書移管に係る調査が実施された。

## 1.2 障害のある利用者（本学構成員）への資料電子化サービス

総合図書館、駒場図書館、柏図書館において、バリアフリー支援室の協力のもと、視覚障害等により紙媒体の資料の利用が困難な本学構成員を対象とした資料電子化サービスを実施している。平成 30 年度の電子化実施件数は、総合図書館 66 件（うち PDF61 件、テキストデータ 5 件）、駒場図書館 3 件（全て PDF）であった。（柏図書館は実績なし。）

また、平成 29 年度の総合図書館に引き続き、平成 30 年度には駒場図書館が国立国会図書館の視覚障害者等用データ送信サービス利用登録館となった。

## 1.3 新プロジェクトの発足

令和 3 年度の図書館システムリプレイス及び電子資料と紙資料の統合検索をそれぞれ課題とした、「システムリプレイス検討プロジェクト」「学術情報ナビゲーション検討プロジェクト」を設置し、実施に向けた検討を開始した。

## 1.4 総合的教育改革への対応（駒場図書館）

### (1) 初年次ゼミナールでの検索実習支援

平成 30 年度に開講された学部新入生必修授業の「初年次ゼミナール文科」および「初年次ゼミナール理科」において、駒場図書館職員と情報システム部情報基盤課学術情報チーム学術情報リテラシー担当（以下、学術情報リテラシー担当）が教材の作成、検索実習の講師を担当するなど引き続き支援を実施した。

### (2) 開館時間の拡大

平成 29 年度の「駒場図書館利用規則」改正により、春季休業期間の開館時間を、平日は 8:30-17:00 から 8:30-20:00 に、休日は閉館日であったところを 9:00-19:00 へと正式に移行した。

### (3) 全学自由研究ゼミナール「図書館の学び・活用・提案」との連携

平成 29 年度から開講の全学自由研究ゼミナール「図書館の学び・活用・提案」（通称：こまとちゃんゼミナール）の一環として、駒場図書館バックヤード見学、発表会の聴講・講評、駒場図書館展示コーナーを活用しての授業成果発表を継続して実施し、教育学習資源としての図書館の有効活用促進に寄与する成果を得た。

## 1.5 学習・閲覧環境の充実とサービス改善の取り組み（駒場図書館）

### (1) 学習・閲覧環境の充実に向けた取り組み

グループ学習室について、利用状況を鑑みて座席数を 10 席追加し、種々の機器をプロジェクターに接続できるようにアダプター類を充実させた。

劣化資料や貴重書等の閲覧環境について、従来事務室内の一角を閲覧席としていたが、利用者エリアに「特別閲覧席」を整備し、より快適に利用できるよう改善した。

また、国立国会図書館デジタル化資料送信専用端末を 1 台から 2 台に増やし、複数の利用者の同時利用を可能にした。

### (2) 教員・学生に対するサービス改善

雇用／委嘱期間前後（非在籍期間中）の非常勤講師に対し、駒場図書館での利用登録を可能とし、図書館サービスを利用できるよう運用を変更した。

また、学生等への夏季長期貸出について、従来から実施期間および貸出期間を短縮し、かつ返却期限の延長を可能とする試行を実施した。その結果、長期に渡り大学を離れる学生の利便性に配慮しつつ、研究のために資料を必要とする教員・大学院生がより早く資料へアクセスできるよう改善された。それと同時に、返却時期が分散したことにより、前年度までの短期間返却集中による返本業務量過多の問題が解消された。

### (3) 入退館ゲートの更新

平成 30 年 6 月に故障した入館ゲートについて、退館ゲートと併せた調達が行われた。12 月末に設置工事が行われ、平成 31 年 1 月からは新しい入退館ゲート及び統計機能の充実が図られた入館管理システムによる運用を開始した。

## 1.6 「大日本海志編纂資料」が「ふね遺産」に認定（駒場図書館）

駒場図書館所蔵の「大日本海志編纂資料」が公益社団法人日本船舶海洋工学会より「ふね遺産」に認定され、7月20日に行われた認定式で認定書と記念の盾が授与された。

「ふね遺産」とは同学会が歴史的価値のあるふね関連遺産を文化的遺産として次世代に伝えるため、2017年度より認定しているもので、「大日本海志編纂資料」は他に比肩するものがないほど水軍書と造船関係資料が充実している点が評価された。

## 2. 研究成果の発信、資料の電子化

### 2.1 機関リポジトリ：東京大学学術機関リポジトリ

平成 30 年度は全体で 2,474 件のコンテンツ追加登録を行い、これにより総コンテンツ数が 41,200 件になった。登録コンテンツの内訳は、紀要・博士論文が中心である。紀要は、85 誌からなる 26,818 件の論文を公開し、本学の研究成果の発信に貢献している。紀要及び博士論文に対し DOI 付与を進めており、平成 30 年度には 1990 年度から 2016 年度に学位授与された博士論文への DOI 付与が完了している。

### 2.2 東京大学デジタルアーカイブズ構築事業

平成 29 年度からスタートした東京大学デジタルアーカイブズ構築事業は、平成 30 年度も附属図書館、文書館、総合研究博物館、情報基盤センターの各長などから成る「東京大学学術資産等アーカイブズ委員会」を中心に事業を進め、公募により選定された 13 事業の取り組みを着実に進めた。この他、実務を担当する学術資産アーカイブ化推進室を中心に、平成 29 年度にデジタル化された資料の公開支援や、既存データベースの IIIF 対応（システムリニューアル）を行った。特に、総合図書館所蔵の「田中芳男・博物学コレクション」の公開に続き、その画像と史料編纂所が公開していた『摺拾帖』（1～18 帖）のデータを結びつけた「電子展示『摺拾帖』」の公開や、教育学部図書室所蔵の「富士川文庫」をリニューアル公開し、京都大学・慶應義塾大学との協働により構築された「富士川文庫デジタル連携プロジェクト試行版」への追加搭載を実現するなど、データの活用を重視した取組を行うことができた。

また、公開データの利用・活用を目指し、総合図書館が公開する画像データ等の二次利用条件緩和の手続きを関連部署と共同で進め、平成 30 年 6 月から、目的を問わず、特別な手続きを経ることなく画像データ等を自由に利用できるよう規定を整えた。さらに「オープンデータ」をテーマに学術資産アーカイブ化推進室が主催するセミナーを開催し、学内外から約 120 名の参加があった。

### 2.3 電子化資料公開システムの改良等

情報基盤センターの提供する貴重書サーバにより、22 の貴重資料コレクションをウェブで公開している。貴重書コレクションについては、東京大学デジタルアーカイブズ構築事業によるコレクション公開環境にメインの公開元を移しつつある。

### 2.4 国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同ネットワーク事業」による資料電子化作業（総合図書館・駒場図書館）

本学では、国文学研究資料館が実施する同事業の拠点大学として、継続的に古典籍のデジタル画像作成を行っている。平成 30 年度は総合図書館 87 点、駒場図書館 219 点、明治新聞雑誌文庫 137 点、工学・情報理工学図書館 9 点、東洋文化研究所図書室 125 点の合計 577 点の電子化を実施した。このうち、総合図書館では、田中芳男文庫所収の産業・農業分野を中心とした江戸期の和古書、駒場図書館では、昭和 16 年設立の資源科学研究所が収集・保持してきた資料のうち、資源科学研究所本草書コレクションのうち 218 点の電子化作業を行った。

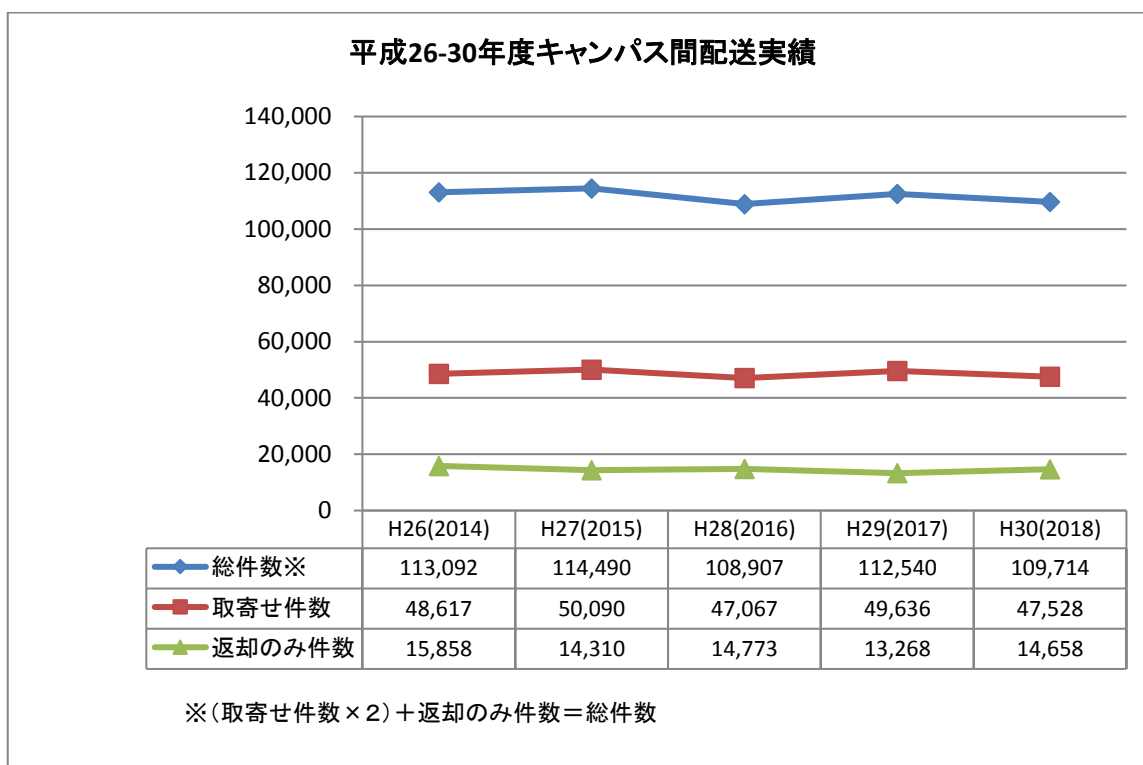
## 3. 利用者サービス、ガイダンス、広報

### 3.1 MyOPAC による文献取寄せサービス

平成 23 年 3 月から、利用者自身が直接所蔵館に図書を取寄せ申込みをすることができるようになり、年々利用が増加していたが、このサービスが定着しここ数年は一定数を保っている。平成 28 年 7 月から、弥生・本郷地区間の取寄せ・返却サービスを開始した。

平成 30 年度の学内図書館・室間の取寄せ冊数は、49,636 冊、取寄せのほか、図書の返送のみの利用も含めると 112,540 冊の利用に上り、学内の図書資源共有に不可欠なサービスとして定着している。

なお、原則としてホームライブラリと同じキャンパス内にある図書館・室に対する文献取り寄せサービスの申込は受け付けていないが、直接来館が困難な障害のある利用者や、演習林等の遠隔地附属施設所属者に対して、依頼先がホームライブラリと同一キャンパス内であっても取寄せサービスを行っている。



### 3.2 駒場図書館キャラクター「こまとちゃん」を活用した広報（駒場図書館）

公式キャラクター「こまとちゃん」を活用し学生志向の親しみやすい広報を心掛けている。平成 30 年度は特に、集密書架および返本台の適切な利用を促す掲示を新たに作成したほか、「夏季長期貸出」や「再貸出」など運用変更に伴う新ルールをこまとちゃんのマンガで紹介するなど、わかりやすく伝える工夫を行った。また、教養学部等事務部学生支援課とも連携し、つきまとい等の迷惑行為に関する防犯ポスターを作成し館内各所に掲示した。



### 3.3 図書館ガイダンス、講習会等

新入生や留学生などを対象に、図書館案内や、資料検索のガイダンス等を実施した。

#### (1) 総合図書館

新規利用者等を対象に以下の説明会を実施した。内容は、①図書館利用案内、② 館内・書庫案内、③本や論文の探し方、である。なお、③の実施に当たっては、学術情報リテラシー担当の全面的な協力を得て実施している。

留学生に対しては、引き続き各研究科で留学生オリエンテーションを実施する部署と連携し、以下のとおり日本語または英語による図書館利用説明を行った。

期間	内容	参加者数
平成 30 年 4 月 5 日～11 日	「総合図書館 Library tour」(春) 日本語コース 3 回、英語コース 2 回	82 名
9 月 26 日～ 10 月 18 日	「総合図書館 Library tour」(秋) 日本語コース 2 回、英語コース 3 回、中国語コース 2 回	55 名
春季	授業、ゼミ、部局図書室等との連携によるオリエンテーション 日本語 1 回	17 名
秋季	授業、ゼミ、部局図書室等との連携によるオリエンテーション 日本語 4 回、英語 1 回	48 名

#### (2) 駒場図書館

文系 1 年生の「初年次ゼミナール文科」で検索実習のほか、オプションとして図書館ツアーも行った。また、院生・留学生向けのガイダンス、授業での文献検索ガイダンスや専門データベース講習会も実施した。

期間	内容	参加者数
春季	大学院新入生向け図書館ガイダンス 10 回	21 名
春季	初年次ゼミナール文科 検索実習 12 回 (学術情報リテラシー担当と共催)	1,267 名
春季	初年次ゼミナール文科 オプション図書館ツアー・セミナー 46 回	447 名
春季・秋季	留学生向け図書館ツアー・ガイダンス 15 回	162 名
(随時)	授業内での文献検索ガイダンス等 4 回	42 名
(随時)	専門データベース講習会 13 回 (学術情報リテラシー担当との共催を含む)	77 名

### (3) 柏図書館

4月～7月、9月～11月の新任職員、新入生が入る時期に重点を置き、適宜、学術情報リテラシー担当と連携しながら図書館利用ガイダンスや講習会等を実施した。

期間	内容	参加者数
春季・秋季	新領域創成科学研究科 新入生ガイダンス 計8回	510名
春季・秋季	新領域創成科学研究科 留学生ガイダンス 計2回	180名
春季・秋季	柏図書館ライブラリーツアー 計2回	72名
春季・秋季	データベース講習会 計20回	46名

## 3.4 キャンパス一般公開

平成30年度も、本郷キャンパスで2日間の「高校生のためのオープンキャンパス」、卒業生を対象にした「ホームカミングデイ」、柏キャンパスで2日間「柏キャンパス一般公開」が開催された。

### (1) 総合図書館

オープンキャンパスは8月1・2日に開催された。総合図書館本館の見学ツアーを実施したほか、別館ライブラリープラザを、「学部情報まごらウンジ」として、学部等を紹介するポスターの展示とちらしの配付をおこない、休憩エリアとしても開放した。ツアー参加者は1,200名、ラウンジへの来場者数は約7,000名だった。

ホームカミングデイは10月20日に開催され、総合図書館本館・別館ライブラリープラザの見学と寄附者への記念品配付を行った。来場者数は230名（内：寄附者 23名）だった。

### (2) 柏図書館

柏キャンパス一般公開に参加し、以下の事業を行ったほか、来訪者への館内公開を行った。

期間	内容
平成30年 10月26～27日 柏図書館テーマ 「開いてみよう知の 宝箱」	UTK COLLECTION パネル展示「東大生のある一日」 図書展示「東大生の本棚 2018～時代を read する」
	柏図書館セルフツアー 「図書館探検 in 柏」
	柏図書館ガイド付きツアー 「柏図書館の閲覧席から自動書庫まで全部見せます！」

## 3.5 イベント企画（総合図書館）

### (1) 講演会・セミナー等

平成30年度はライブラリープラザのリニューアルオープンに伴い様々なイベントを連続開催した。また、総合図書館をはじめとした各図書館・室を東京大学の学生がより活発に使えるようにするため、イベントや広報などを企画・実施する学生ボランティア団体「ACS（Academic Commons Supporter）」によるイベントも開催した。

期間	内容	参加者数
平成 30 年 10 月 2 日	LPトークセッション vol.1 教員によるリレートーク vol.1 「知の拠点としての図書館」 五神真総長、熊野純彦附属図書館長	70 名
10 月 9 日	LPトークセッション vol.2 デジタルアーカイブズセミナー 「田中芳男と『摺拾帖』 幕末・明治を魅せる万華鏡的世界」 佐藤賢一（電気通信大学准教授）	55 名
10 月 18 日	LPトークセッション vol.3 アジア研究図書館セミナー 「アジア研究図書館はどんな場所」 U-PARL 教員	35 名
10 月 24 日	LPトークセッション vol.4 「知っておきたいオープンアクセス～ハゲタカに喰われないために～」 細川聖二（附属図書館情報管理課長）ほか	50 名
11 月 8 日	大学総合教育研究センター、附属図書館主催 第 11 回東大院生によるミニレクチャプログラム	50 名
11 月 9 日	アジア経済研究所図書館、経済学部図書館、総合図書館 ブックトーク企画 「リサイクルと世界経済」 小島道一（アジア経済研究所研究員）	33 名
11 月 19 日	U-PARL アジアンライブラリーカフェ no.005 「北米の大学図書館とサブジェクト・ライブラリアンのお仕事」 田中あずさ（ワシントン大学東アジア図書館日本研究専門司書）	38 名
11 月 22 日	学術資産アーカイブ化推進室主催セミナー 「かわいい子には旅をさせよーデジタルアーカイブとオープンデーター」 武田英明（国立情報学研究所）、渡辺智暁（慶應義塾大学）、福田真人（東京大学）、山崎翔平（東京大学）、永崎研宣（一般財団法人 人文情報学研究所）、中村覚（東京大学）	120 名
11 月 28 日	ACS 企画 熱い知をぶつける！ ～総合図書館ビブリオバトル～	50 名
11 月 26 日	トークセッション vol.5 「人と出会う、本と出会うー図書館の愉しみかたー」 熊野純彦附属図書館長、菅原克也附属図書館副館長	42 名

期間	内容	参加者数
12月3日	ACS企画 近接分野座談会「おとなりさん」第1回 心理	50名
平成31年 2月7日	LPトークセッション vol.6 教員によるリレートーク vol.3 「文系の図書館？理系の図書館？」 菅原克也附属図書館副館長、今井浩工学・情報理工学図書館長	50名
2月15日	LPトークセッション vol.7 「新しい日本目録規則 2018年版」 木下直（附属図書館総務課専門員）	50名
3月17日	南原繁記念出版賞第9回表彰式、第7・8回受賞者講演会 講演：濱田武志（三重大学人文学部講師）、江本弘（日本学術振興会特別研究員） 表彰：鈴木啓之（日本学術振興会・海外特別研究員）、 志田雅宏（日本学術振興会特別研究員）	70名

## (2) 建物見学ツアー

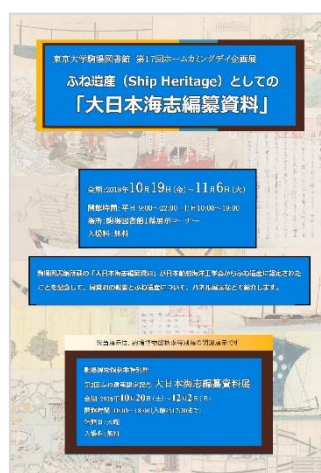
総合図書館は本館耐震改修工事 III-2 期が終わり、平成 30 年 5 月にリニューアルオープンを迎えると同時に自動書庫資料の提供サービスが新たに始まった。創建当時のデザインに復元された建物の魅力や館内に展示する歴史的文物の紹介と自動書庫資料の利用案内を目的とした図書館ツアーを行った。

期間	内容
平成 30 年 5月29日～6月8日	「リニューアル記念！総合図書館ガイドツアー」 5回開催
11月15日	「再建 90 周年記念！総合図書館閉館日ツアー」 7回開催
12月20日	「再建 90 周年記念！総合図書館閉館日ツアー」 4回開催

### 3.6 展示企画及びイベント等（駒場図書館）

#### (1) 展示企画

期間	内容
平成 30 年 9 月 26 日～10 月 17 日	展示「東大教師が新生にすすめる本 2018」（駒場図書館 1 階展示コーナー）
10 月 19 日～11 月 6 日	第 17 回ホームカミングデイ企画展「ふね遺産（Ship Heritage）としての『大日本海志編纂資料』」（駒場図書館 1 階展示コーナー）



なお、上記以外に展示ケース利用制度による展示企画が 11 件（計 183 日間）あり、授業成果発表・学生団体・学内他部署（詳細は 6.8[学内他部署との連携]に記載。）などにも展示コーナーが活用された。

#### (2) イベント等

期間	内容
平成 30 年 7 月 17 日～20 日	試験応援企画！「こまとちゃんミニノート」プレゼント

### 3.7 展示会及びイベント等（柏図書館）

#### (1) 展示会

期間	内容
平成 30 年 1 月～6 月	第 10 回企画展示「えぞ松の更新と図書館の先にある自然」
平成 29 年 12 月～	第 11 回企画展示「ふね遺産『平賀謙文書』」
平成 30 年 8 月～1 月	第 12 回企画展示「本書く派 戸田盛和」

(2) イベント等

期間	内容
平成 30 年 5月 21 日	第 3 回柏図書館友の会上映会『英国王のスピーチ』 (主催:柏図書館友の会、共催:柏図書館)
7月 6 日	第 17 回サイエンスカフェ「しなやかなタフポリマーがもたらす自動車用材料の革新」 伊藤耕三 (新領域創成科学研究科教授)
10月 17 日	柏図書館ビブリオバトル
11月 2 日	第 18 回サイエンスカフェ「日本の科学論 : 戦前戦中戦後の変遷」 岡本 拓司 (総合文化研究科教授)
11月 10 日	柏市立図書館・柏市内 4 大学合同企画ビブリオバトル (主催:柏市立図書館)
11月 30 日	英語落語 (主催:三井ボランティアネットワーク事業団、共催:国際化教育支援室柏支部、柏図書館)
12月 5 日	第 19 回サイエンスカフェ「若き日の平賀讓」 安達裕之 (東京大学名誉教授)
平成 31 年 1月 11 日	第 21 回わくわくミニコンサート (柏図書館、柏図書館友の会共催)
3月 28 日	「空間情報科学のための歴史的アナログデータの活用に関するワークショップ」 (主催:空間情報科学研究センター、空間情報科学連携ラボ、協力:柏図書館、学術資産アーカイブ化推進室)


  
 第10回 柏図書館企画展示

## えぞ松の更新と 図書館の先にある自然

北海道の自然林は、えぞ松は樹木の上にも育つ。  
 (46)  
 北海道の自然はさびしい。発芽はしても育たない。しかし、  
 樹木のうえに着床発芽したものは、しあわせなのだ。  
 (幸野文「えぞ松の更新」より)

えぞ松が樹木更新に興味を持った幸野文が、東京大学北海道産林での山仕事  
 をきっかけに書いた自然の更新。

心ゆくまで自然を堪能できる自然の生きたり息づくの体感と、北海道産林のこ  
 れを本「木」関係として音で体感できる展示です。

北海道の新しい集落では樹木の上でしか育たないといわれるえぞ松の歴史、同音節でお  
 見します。

2018年 1月 9日(火)～6月 30日(土)  
 休館日を除く平日 9:00～21:00 (3月は17:00まで)

柏図書館 1階 展示スペース  
 主催:東京大学柏図書館 (http://www.t.u-tokyo.ac.jp/library/kashiwa)

Tel:01-7135-1221 E-mail: kashiwa@lib.t.u-tokyo.ac.jp


  
 柏図書館サイエンスカフェ

Kashiwa Library Science Café # 19

## 若き日の平賀讓


ゲスト  
 安達 裕之 名誉教授  
 (工学博士、日本海軍航空学会会長、東京大学理学院の理系総合センター長、元理系科学系長(2012年まで))

カフェリスト  
 藤原 俊 教授  
 (東京大学柏図書館、新領域創成科学研究科)

平賀讓は、第一高等学校から東京帝国大学造船科へ進み、卒業後海軍に入り、イギリス留学を経て大艦巨砲主義時代の軍艦の設計責任として名を馳せるとともに、東京帝国大学工学部で最新の育成に努め、工学部長、総長を歴任。戦時中の大学運営に尽力しました。本日は東京大学創設と平賀讓さんから教えて140周年にあたり、そこで、柏図書館の所蔵する平賀讓文書によって若き日の足跡をたどります。

12/5(水) 14:00～15:00 受付開始 13:45  
 柏図書館1階コミュニティサロン 定員25名(先着順) 入場無料

主催:東京大学柏図書館  
 https://www.lib.t.u-tokyo.ac.jp/lib/kashiwa/ Kashiwa  
 Tel:04-7135-4224 E-mail: kashiwa@lib.t.u-tokyo.ac.jp  
 後援:東京大学柏図書館友の会


  
 第21回 わくわくミニコンサート

2019年 1月11日(金)  
 17:30～20:30 (終了予定) / 17:15 開場

会場  
 東京大学柏キャンパス 柏図書館メディアホール

みなさまお誘いあわせの上  
 どうぞご来場ください!  
 (予約不要・入場無料・入退場自由)

1. 新編 花(演劇)
2. 新編 花(演劇)
3. 新編 花(演劇)
4. 新編 花(演劇)
5. 新編 花(演劇)
6. 新編 花(演劇)
7. 新編 花(演劇)
8. 新編 花(演劇)
9. 新編 花(演劇)
10. オカリナアンサンブル「花」(吹奏)
11. 新編 花(演劇)
12. 新編 花(演劇)
13. 新編 花(演劇)
14. 新編 花(演劇)
15. 新編 花(演劇)
16. 新編 花(演劇)

東京大学柏図書館 Tel: 04-7135-5711  
 Kashiwa Library (http://www.lib.t.u-tokyo.ac.jp/kashiwa)

## 4. 資料の収集

### 4.1 学習用図書整備

平成 20 年度から恒常的に措置されている学習基盤経費により、今年度は総合・駒場・柏図書館で合計 10,337 冊（総図：4,449 冊、駒場：4,427 冊、柏：1,461 冊）の学習用図書を購入した。図書の選定に際しては、教員からの推薦、図書館職員による選定のほか、学生自身の観点を生かすため、ジュニア・スタッフによる選書を実施している。また、留学生向けの資料購入も別途行っており、総合図書館では 12 冊、柏図書館では洋書を中心に 54 冊の図書を購入した。このほか、駒場図書館では平成 22 年度より継続して東大駒場友の会から学生向けの図書の寄贈を受けており、今年度は 383 冊が寄贈された。

また、シラバス掲載タイトルの購入など、和書電子書籍の整備を積極的に推し進め、約 2,700 タイトルが利用可能となっている。

### 4.2 全学資料購入集中処理システムの着実な運用

経費節減と事務の効率化を図ることを目的として、図書資料を全学的に共同購入するシステムを平成 16 年度から運用している。第 1 ステージ（図書館・室を通して購入する図書資料）と第 2 ステージ（教員等が各部局の会計担当を通して直接購入する消耗品扱いの図書資料）をあわせた平成 30 年度の取扱総額は約 2 億 5,400 万円であり、書店への支払いの集中化・一元化により約 1,310 万円の図書購入費を節約することができた。

### 4.3 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備

平成 18 年度に学内施策として合意された「全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備」の制度は、平成 28 年度から第 3 期に入った（令和 2 年度まで）。

この制度に基づき、国内雑誌・外国雑誌（冊子）2,926 タイトル、電子ジャーナル 10,151 タイトル、データベース 65 点を契約し、学習・教育研究活動に必要な学術情報を安定的に供給した。これらの契約にかかる事務処理は総合図書館が一括して執り行い、学内の契約・支払い業務の効率化も同時に図っている。

また、令和 3 年度から始まる第 4 期に向けて、対象資料に係る調査を実施した。

### 4.4 大型コレクション

全学共通経費の大型コレクション収集枠を利用して、次の資料を整備した。

- (1) The Illustrated London News Historical Archive, 1842-2003  
（イラストレイテッド・ロンドン・ニュース・ヒストリカル・アーカイブ）
- (2) Early European Books Collection 5  
（初期欧州書籍集成データベースコレクション 5）
- (3) World Newspaper Archive, South Asian Newspapers (1864-1922)  
（南アジア新聞コレクション（インド、パキスタン、スリランカ、1864 年-1922 年））
- (4) The Making of the Modern World. Part III, 1890-1945  
（近代世界の形成（オンライン版社会科学系学術図書データベース）：第 3 部）

## 5. 資料の管理

### 5.1 目録データの遡及入力事業

附属図書館では、オンライン蔵書検索システム（OPAC）が導入される以前の紙の目録カードで整理されていた全学の図書について、遡及的に目録データを入力することによって、オンラインで検索できるようにする事業を10年計画で進めている。

平成27年度から開始した第3期全学遡及入力計画では、前半の5年間は、国文学研究資料館が中心となって実施する「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」に伴う「新日本古典籍総合データベース」の構築や東京大学新図書館計画を踏まえて総合図書館所蔵資料を優先して行うこととした。加えて、今年度は農学、駒場図書館、教育学、東文研所蔵の和古書・漢籍・和書等の入力を実施した。合計で34,000冊の目録作成を目標とし、約50,000冊（うち総合図書館は約23,000冊）のデータ入力を達成した。

### 5.2 自動書庫への資料入庫（総合図書館）

自動書庫への資料入庫について、平成30年2月21日に入庫作業を開始し、書庫資料の製本雑誌（和書）と図書（和洋書）約30万冊の入庫を5月初旬に完了した。

また、館外に移転している資料の移転・入庫に着手し、9月には学位論文（論文博士）を数理科学研究科図書室から総合図書館へ戻し、書誌事項修正を行いながら順次入庫中である。続いて、駒場Ⅱキャンパス・15号館で保管していた製本雑誌（洋書）と図書（洋書）の約10万冊を2度に分けて戻し入れることとし、平成31年1月末から3月初旬の間に約5.6万冊を自動書庫へ入庫した。

### 5.3 自動書庫への雑誌移管（柏図書館）

平成30年度は総合図書館、医学、工・情報理工(4専攻)、理学、医科研、地震研、生研、物性研、大海研の12図書館・室から、自然系学術雑誌のバックナンバー2,950冊を移管し、自動書庫に収納した。また、医科学研究所図書室から6,328冊の移管資料を受け入れた。現在、自動書庫には総合図書館からの預かり資料も含めて合計約46万冊が収納されており、PDF閲覧サービスを通じて全学の利用に供されている。

### 5.4 図書資産の実査

#### (1) 総合図書館

総合図書館の図書資産実査は、10年で全資料を一巡する計画で順次実施している。平成30年度は第2期計画の4年目にあたり、自動書庫へ初期入庫した資料（図書・製本雑誌）393,500冊を実査の対象とした。その結果、74冊の不明資料があった。また、昨年度の不明資料216冊（開架内和書・参考図書）の再調査を併せて実施した結果、30冊の所在を確認し、186冊については依然不明であった。



## (2) 駒場図書館

駒場図書館の図書資産実査は、5年で全資料を一巡する計画で順次実施している。平成30年度は第2期計画の4年目にあたり、地下2階の集密図書及び大型図書計106,556冊と不明資料110冊を対象とし、ジュニア・スタッフ10名の協力を得て9月に実施した。その結果、計73冊が不明であったため、令和元年度に再調査を行うこととした。

また、以前より不明であった資料754冊について現物調査を行った結果、420冊は依然として不明であったため、調査不十分の47冊を除き373冊を亡失資料として除籍手続きを行った。

## (3) 柏図書館

5類から9類の開架図書15,750冊を対象とし、7月から8月にかけて実施した結果、4冊の不明資料があった。また、昨年度の不明資料8冊の再調査を併せて実施した結果、3冊については依然不明であったため、亡失資料として除籍手続きを行った。

## 5.5 改修工事に伴う資料の学内移転（総合図書館）

改修工事に伴い館外に移転した総合図書館所蔵資料のうち、学内で保管している資料を、柏図書館、先端科学技術研究センター図書室の支援により、学内者の利用に供している。

平成30年度9月には学位論文（論文博士）を総合図書館へ戻し、数理科学研究科図書室による運用支援が終了した。

## 6. 業務管理

### 6.1 職員研修

附属図書館研修プログラムとして、業務に必要な知識を習得し、業務を効率化・省力化するためのスキルを身に付けた人材を効果的に育成していくため、業務のニーズにあった目的別研修を実施した。平成 30 年度は情報交換、実践報告などを実施した。また TV 会議システムを利用して、駒場図書館、柏図書館へ講習会の中継を行った。

期間	内容	参加者数
平成 29 年 10 月 22 日	北米の研究専門司書（サブジェクト・ライブラリアン）との 情報交換会	5 名
11 月 9 日	「LibrarianMap（プロトタイプ版）についてのオープンデ ィスカッション」	9 名
11 月 19 日	東大図書館セルフツアーのいま（セルフツアー報告会）	21 名
12 月 11 日	資料保存研修「本の修理 -考え方と方法-」	19 名
12 月 20 日	LP ワークショップ&研修プログラム企画 「学生、教員、職員みんなにとっての『東京大学附属図書 館』とは？」	15 名
7 月～3 月	昼休みを利用し、「研プロカフェ」を 7 回開催	

### 6.2 友の会（柏図書館）

柏図書館友の会は、柏図書館の活動支援や会員相互、及び柏図書館職員との交流の促進を図ることを目的として、平成 20 年度に発足した。第 10 回総会を 5 月 21 日に開催し、会長その他の役員や事業計画が承認された。また、理事会を 2 月 28 日に開催し、翌年度の事業計画等について議論を行った。平成 31 年 3 月 31 日現在の一般会員（個人）は 268 名である。

柏図書館と友の会が共催するわくわくミニコンサート（1 月 11 日開催）では 16 組の出演があり、出演者・来場者合わせて 187 名が参加した。また、一部業務をコンサートマネジメント業者に委託した。

### 6.3 インターンシップ

大学図書館への就職を志望する大学生のインターンシップとして、慶應義塾大学から 1 名を受入れ、総合図書館、柏図書館のほか、部局図書館・室の協力により、8 月 27 日～9 月 7 日の 2 週間にわたって実務研修を実施した。

## 6.4 社会連携・地域貢献

### (1) 所蔵資料の出陳（総合図書館）

総合図書館では、全国の美術館・博物館等が企画する展覧会への出陳依頼があった時は所蔵資料の貸出（出陳）を行っている。平成 30 年度は 9 機関へ、のべ 26 点の資料を貸し出した。

### (2) 図書館見学バスツアーとビブリオバトル（柏図書館）

柏図書館は、柏市立図書館並びに柏市内 3 大学図書館と連携して、大学生を中心に若年層への読書支援を目的とした「知的書評合戦（ビブリオバトル）」を 11 月 10 日に、市マイクロバスを利用した市民向けの「市内 4 大学図書館見学バスツアー」を 11 月 17 日にそれぞれ実施した。

### (3) 中学生職場体験の受入（柏図書館）

柏市内の市立中学校 2 校から 4 名の中学生職場体験を受け入れ、「生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について、体験したり、働く人々と接したりする学習活動」の場を提供した。

## 6.5 教員著作物可視化事業との連携

平成 28 年度に開始された「教員著作物の可視化と国際発信」事業（研究推進部研究推進企画課）と連携し、東京大学教員の著作物を著者自らが紹介するサイト UTokyo BiblioPlaza に収載される著作のうち、総合図書館、駒場図書館、柏図書館が未所蔵の図書を合計 177 タイトル購入し、各館に配架した。図書館からの提案により、同サイトの各著作の紹介ページには東京大学 OPAC の検索結果へのリンクが掲載されており、所蔵・貸出状況が容易に確認できる。また、対象図書の電子書籍 37 タイトルもあわせて購入し、学内ネットワークにより提供を行っている。

## 6.6 学内他部署との連携

### (1) 総合図書館

総合図書館では、平成 27 年度から、障害者集中雇用プロジェクトチーム（施設部施設企画課、以下プロジェクトチーム）の協力のもと、定期的な館内清掃等の作業を行っている。平成 30 年度も毎月休館日に、建物清掃班が本館の閲覧機及び館内 PC のキーボード約 70 台、別館ライブラリープラザの机・自動ドア等の清掃を行い、業務支援班が本館内開架書架の整理と清掃を行った。

さらに、プロジェクトチームの申し入れを受け、チームの分室を図書館内に設けることで合意し、改修工事期間中は暫定的に本館 1 階事務スペースの一角を貸与する形で 7 月から分室の運営がスタートした。業務支援班のコーディネーター 1 名とスタッフ 3 名による図書館業務専門のチームが館内に常駐し、日常的に資料清掃や書架整理に携わることとなり、チームと図書館との協力関係において大きな一歩を踏み出したといえる。

### (2) 駒場図書館

駒場図書館では、平成 27 年度から障害者集中雇用プロジェクトチーム建物清掃班（駒場分室）による保存書庫の資料および書架清掃及び不定期のメディアパークの PC や開架書架の清掃を行っている。週 1 回、3～4 名のスタッフよっての丁寧な作業によって、保存書庫や館内の環境は格段に改善された。このほか教養学部等

事務部環境美化チームにも不定期に資料の清掃を依頼し、遡及入力作業の効率アップにつながっている。両チームの貢献度は極めて高く、今後も連携を強化していきたいと考えている。

また、教養学部授業（3件）での実地演習場所を提供した。そのほか、展示ケース利用制度による工学部進学選択関連展示（春季）、農学部進学選択関連展示（秋季）も行われた。広報関係では、高大接続研究開発センター運営の「キミの東大 高校生・受験生が東京大学をもっと知るためのサイト」取材への協力も行った。今後もこれらの部署との連携を深め、学習や進路選択に資する支援を継続することにより、駒場図書館の発信力強化にも繋げていきたい。

### (3) 柏図書館

柏図書館では、平成 25 年度から環境整備チーム（柏地区共通事務センター環境整備チーム）に書架整理やラベル貼付、送付物封入作業など様々な図書業務を依頼している。平成 30 年度は、図書資産実査の補助作業・廃棄資料の処理作業・返却図書の書架への配架・清掃作業などを行った。環境整備チームによる業務は、柏図書館にとって強力な業務支援となっており、今後も作業内容を相談しながら業務を依頼し、連携を深めたい。

## 6.7 規則改正

附属図書館では、平成 29 年度から部局間連携企画委員会、業務担当係会の発足など新たな部局間連携体制が始まり、平成 30 年度に入り業務担当係会の活動が軌道に乗ってきたこと、また新たなプロジェクトの設置などを受け、「東京大学附属図書館連絡会議設置要項」、「東京大学附属図書館連絡会議業務担当係会・プロジェクト運営内規」、「東京大学附属図書館連絡会議系別部会運営内規」の改訂を行った。

総合図書館では、インターネット上に公開する画像データ等の取り扱いに関して「総合図書館が作製・公開するデジタル画像データの取扱要項」を廃止し、「東京大学総合図書館が公開するデジタルデータの取り扱いに関する内規」を新たに定めた。

駒場図書館では、全学委員会の見直しを受け、「駒場図書館運営委員会規則」の一部改正を行った。

柏図書館では、防犯カメラの入れ替えに伴い、「防犯カメラ運用方針」の改正を行った。

## 7. 附属図書館会議

開催日	会議名称
平成 30 年	
4 月 25 日	第 438 回東京大学図書行政商議会
6 月 29 日	平成 30 年度第 1 回東京大学学術資産等アーカイブズ委員会
7 月 11 日	平成 30 年度第 1 回東京大学柏図書館運営委員会
7 月 12 日	第 43 回駒場図書館運営委員会
7 月 24 日	第 439 回東京大学図書行政商議会
11 月 14 日	第 440 回東京大学図書行政商議会
12 月 13 日	第 44 回駒場図書館運営委員会
12 月 19 日	平成 30 年度第 2 回東京大学学術資産等アーカイブズ委員会
平成 31 年	
2 月 20 日	平成 30 年度第 1 回総合図書館運営委員会
3 月 4 日	第 441 回東京大学図書行政商議会
3 月 7 日	第 45 回駒場図書館運営委員会
3 月 13 日	平成 30 年度第 2 回東京大学柏図書館運営委員会

# 全図書館・室統計

## 1. 職員数、蔵書数、利用件数

	職員数										蔵書数										資料費				購入資料数				逐次刊行物				館外貸出		相互利用					
	常勤(人)		非常勤(人)		和書(冊)	洋書(冊)	合計(冊)	和文(種)	欧文(種)	合計(種)	総額(千円)	和書(冊)	洋書(冊)	合計(冊)	(内購入)	和文(種)	欧文(種)	合計(種)	(内購入)	館外貸出(冊)	受付(件)	依頼(件)																		
	11	6	2	4																			290,971	530,310	821,281	2,334	3,799	6,133	95,640	4,201	5,467	9,668	5,209	683	713	1,396	876	—	488	204
	2	4	58,418	823																			59,241	823	59,241	8029	39	8,068	106	36	1	37	0	79	0	79	0	—	245	1
10	5	111,917	162,757	274,674	2,009	1,947	3,956	20,070	2,098	164	2,098	164	2,262	2,013	574	42	616	217	16,281	4,699	886																			
12	15	167,135	244,126	411,261	4,045	3,486	7,531	21,074	2,825	3,761	2,825	3,761	6,586	2,177	823	150	973	428	42,148	578	125																			
5	19	557,936	590,739	1,148,675	9,448	4,643	14,091	57,717	5,151	5,383	10,533	3,608	581	616	1,197	781	19,379	713	19,379	713	598																			
5	8	40,604	182,193	222,797	1,516	4,380	5,876	13,855	487	592	1,079	513	216	234	450	113	7,732	95	26	26																				
10	4	262,013	176,239	438,252	7,778	5,436	13,214	32,297	5,983	2,770	8,753	1,221	1,163	527	1,690	669	11,694	2,066	224	224																				
8	13	511,073	322,084	833,157	11,406	4,768	16,174	31,979	3,237	1,190	4,427	2,450	555	231	786	303	20,547	259	143	143																				
15	21	619,076	534,128	1,153,204	2,628	4,349	6,977	46,626	8,046	6,287	14,333	6,921	699	634	1,333	934	176,487	688	727	727																				
1	2	8,828	69,557	78,385	144	1,094	1,238	3,824	119	430	546	256	46	60	106	53	2,305	—	—	—																				
3	5	100,704	67,312	168,016	2,892	1,122	4,014	10,413	3,036	324	3,368	527	417	84	501	227	13,721	681	280	280																				
2	1	13,273	36,384	49,657	457	468	925	1,825	705	489	1,194	174	87	4	91	10	2,233	174	98																					
2	3	15,196	137,056	152,252	135	1,619	1,754	39,334	161	2,447	2,600	1,939	25	465	490	302	6,356	168	1																					
2	4	72,113	55,615	127,728	1,392	1,363	2,755	3,265	668	484	1,150	301	156	44	200	101	4,294	381	127																					
0	4	12,102	5,094	17,196	0	0	0	2,411	394	12	400	141	0	0	0	0	—	—	—																					
1	1	2,705	7,204	9,909	200	211	411	150	0	0	0	0	0	0	12	6	18	6	41	22																				
2	1	22,524	37,126	59,650	1,225	1,305	2,530	1,344	175	117	290	51	123	26	149	33	910	42	6																					
5	5	506,511	194,622	701,133	2,714	9,928	12,137	21,093	4,264	1,620	329	545	874	392	290	231	65	65																						
7	0	213,187	141,775	354,962	5,320	2,226	7,546	15,078	1,807	972	2,779	1,416	655	164	819	317	6,901	63	14																					
2	0	63,377	94,577	157,954	1,068	1,502	2,570	942	170	49	219	118	713	37	750	70	782	52	23																					
6	9	527,461	16,267	543,728	2,916	286	3,202	7,600	3,235	78	3,313	686	1,443	36	1,479	104	196	24																						
0	1	984	23,432	24,426	21	214	235	12,082	3	42	45	45	12	56	68	64	114	20	11																					
2	1	7,417	59,262	66,679	97	635	732	9,882	212	234	446	327	36	5	41	33	3,377	54	1																					
1	3	23,349	36,505	59,854	1,655	1,196	2,851	4,976	337	197	534	241	370	188	558	48	521	76	20																					
1	1	8,389	2,235	10,624	733	350	1,083	0	338	7	346	0	239	49	288	0	21	0	8																					
2	2	18,091	30,626	48,717	80	414	494	1,447	210	165	376	132	12	3	15	9	2,929	5	58																					
117	134	4,235,364	3,768,048	8,003,412	70,242	54,046	124,288	446,474	45,805	33,755	79,568	32,096	10,048	4,919	14,967	6,090	338,073	12,057	3,823																					
39	17	846,050	448,911	1,294,961	11,738	9,768	21,506	145,472	8,214	3,876	12,099	8,223	1,454	223	1,677	206	135,076	2,308	28																					
5	2	130,266	315,020	445,286	7,732	16,349	24,081	12,087	1,913	1,143	3,056	1,531	27	18	45	22	29,227	719	28																					
161	153	5,215,680	4,531,979	9,745,659	89,712	80,163	169,875	1,910,033	55,932	38,774	94,700	41,850	11,529	5,160	16,689	6,318	503,376	15,084	3,879																					

(社)日本図書館協会(2019年4月24日現在)より  
 (た)は職員数は附属図書館職員名簿(2019年4月24日現在)より

## 2. 経年変化

### 2.1 蔵書数

	附属図書館合計	うち総合図書館	うち駒場図書館	うち柏図書館
2014（平成26）年度	9,450,809	1,250,686	639,672	404,959
2015（平成27）年度	9,521,122	1,264,226	652,242	415,207
2016（平成28）年度	9,577,261	1,274,450	663,311	421,752
2017（平成29）年度	9,665,812	1,285,461	673,355	432,333
2018（平成30）年度	9,745,659	1,296,961	681,053	445,286

（冊）

### 2.2 所蔵雑誌種類数

	附属図書館合計	うち総合図書館	うち駒場図書館	うち柏図書館
2014（平成26）年度	166,398	21,520	5,651	22,961
2015（平成27）年度	166,880	21,570	5,711	23,529
2016（平成28）年度	168,385	21,648	5,711	23,675
2017（平成29）年度	167,607	21,503	5,817	23,877
2018（平成30）年度	169,875	21,506	5,841	24,081

（種類）

### 2.3 資料費総額

	附属図書館合計	うち総合図書館	うち駒場図書館	うち柏図書館
2014（平成26）年度	1,748,144	86,234	30,590	16,795
2015（平成27）年度	1,950,510	97,552	30,169	16,524
2016（平成28）年度	1,809,668	70,944	30,534	17,117
2017（平成29）年度	1,838,119	76,754	31,058	12,989
2018（平成30）年度	1,910,033	75,106	29,971	12,087

（千円）

### 2.4 入館者数（延人数）

	附属図書館合計	うち総合図書館	うち駒場図書館	うち柏図書館
2014（平成26）年度	1,892,701	476,316	682,367	40,905
2015（平成27）年度	1,866,713	440,082	674,853	41,854
2016（平成28）年度	1,849,075	398,114	703,120	35,726
2017（平成29）年度	1,783,205	322,006	693,600	39,055
2018（平成30）年度	1,825,598	448,547	672,408	39,634

（人）

## 2.5 館外貸出冊数

	附属図書館合計	うち総合図書館	うち駒場図書館	うち柏図書館
2014（平成26）年度	497,067	122,374	174,507	32,681
2015（平成27）年度	523,756	153,479	169,298	35,669
2016（平成28）年度	516,179	147,411	169,064	31,746
2017（平成29）年度	484,890	114,924	165,941	31,822
2018（平成30）年度	503,376	135,076	171,140	29,227

(冊)

## 2.6 ウェブサービス等アクセス数

	東大OPAC (検索回数)	附属図書館 ウェブサイト	GACoS
2014（平成26）年度	3,579,138	1,572,633	550,968
2015（平成27）年度	3,120,728	1,434,215	584,309
2016（平成28）年度	3,876,972	1,325,206	586,230
2017（平成29）年度	5,263,724	1,136,901	704,424
2018（平成30）年度(*)	5,371,135	761,933	728,711

(回)

\*) 2017年9月に附属図書館ウェブサイトを全面リニューアル。統計項目とデータ取得方法を変更。

## 2.7 電子ジャーナルダウンロード数

	CUP	Science	OUP	Springer Nature	Wiley- Blackwell	Elsevier
2014（平成26）年度	27,873	173,046	175,586	1,340,684	652,581	1,988,641
2015（平成27）年度	29,978	178,288	171,516	1,451,199	685,344	2,111,667
2016（平成28）年度	26,449	166,146	169,279	1,270,907	723,586	2,165,378
2017（平成29）年度	31,748	171,636	224,286	1,386,094	792,470	2,265,331
2018（平成30）年度	34,390	224,697	235,252	1,521,795	711,781	2,792,472

(回)

【参考情報】 図書館関連統計情報の公開サイトについて

- ・ 附属図書館 統計表  
<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/about/statistic>
- ・ 主要情報サービス利用統計（情報システム部情報基盤課学術情報チーム）  
<https://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/stat/index.html>



## 東京大学附属図書館

2019年11月15日 発行

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

電話 03-5841-2612, 2613 (総務課企画渉外係)

**Fax** 03-5841-2636

<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/>